

富士市立高等学校 学校運営協議会		第9回	会議要旨 (平成27年度)
開催日 平成28年2月2日 火曜日 開会 18時30分 閉会 20時30分		会議場 富士市立高等学校 2階 会議室	
出席委員 塩田 真吾 柴田 怜奈 中川 加代子 杉山 荘一 畑 隆 松浦 匠 野村 浩美 吉村 孝夫 渡邊 利夫 齋藤 照安 片田 等 石村 俊樹 植野 秀樹			
開会 会長・副会長あいさつ ○ 畑会長 ・学校の年間のサイクルの中では、この1年間を振り返るべき時期になった。PDCAサイクルのなかで、Cの評価の部分も重要なサイクルの一環をなすもの。今日はそのことに関わる議論をしていく予定。皆様の活発なご意見をよろしく願いたい。 ○ 齋藤副会長 ・前回、いろいろなご意見をいただいたので、学校としてもできることはないかと検討してきた。学校運営協議会が、学校の方向性を確認していくうえで大事な会であるということを改めて感じている。今日もご検討いただき、皆様の意見を来年度に生かしていきたいと思う。			
議事の概要 ○学校からの報告 ◇部活動の実績について ・吹奏楽部が10月31日に「第21回日本管楽合奏コンテスト全国大会」に出場した。本校は、3年前に続いて2度目になる。全国から36校が出場し、その中の1校として活躍してくれた。 ・英語部は「全国商業高等学校協会英語スピーチコンテスト」の県大会で、レシテーションの部において優勝した。1月10日の全国大会に出場し、全国で第2位になった。市長に表敬訪問し、市長から温かい言葉をかけていただいた。 ・弓道部は、12月24日に行われた「全国高等学校弓道選抜大会」に、個人の部で25HRの生徒が出場し、技能優秀選手という男女1名ずつ選ばれる選手に選ばれ			

た。技能優秀選手は、射形や立ち居振る舞いなどが最も優れた選手に贈られる賞で、県内初の栄誉となった。

- ・ 県の新人戦がいくつか行われた。柔道部が女子の団体で県の3位。個人では48キログラム級で準優勝。剣道部は男子の団体で第5位になり、初めての東海大会出場が決まった。サッカー部が新人戦の東部大会で2位になった。県大会での活躍が期待される。

◇広報活動について

- ・ 来年度から富士コミュニティFMを活用した広報活動を展開しようと考え、ラジオ活用検討委員会を立ち上げた。ラジオを活用して、本校の情報を地域に向けて積極的に発信するためのもの。放送時間は、毎月最終水曜日の17時37分から17時52分の15分間。「2D」という番組の1つのコーナーとして本校の情報番組が放送される。年間計画を資料の表のとおり立ててみた。番組制作に当たってはラジオエフが全面協力をしてくれる。良いものを作って、皆さんに聞いていただければということで、来年に向けて動いている。

◇現在の進路決定状況について

- ・ 現在の進路決定状況は、国公立大学の合格者が7名。3期生の特徴としては、スポーツ探究科の生徒が、静岡大学あるいは北海道教育大学釧路校という国公立大学に入ったこと。センター試験を利用して、国公立大学へ行きたいという生徒も何人かいるので、あと2、3人合格が増えるのではないかと期待している。
- ・ 私立大学は地元の常葉大学の人気が高い。受験者も多く、進学する生徒も非常に多くなると思う。それ以外の生徒については、関東を中心に進学する生徒が非常に多い。女子の生徒で看護の道を志す生徒が四年制大学を目指し、東京女子医科大学の看護学部合格した。
- ・ 短期大学は、基本的には保育と食物栄養に希望が集中している。保育士と栄養士を目指す生徒が短期大学に進学する傾向がある。
- ・ 専門学校は医療・看護系を中心に、それぞれの就職先を目指した専門学校に進学している。
- ・ 就職は41名。校内求人を使って就職を希望する生徒については100%内定をいただいた。公務員は熱海市消防が1名。公務員希望者が多かったが、警察、消防とも1次試験は通って2次試験で落ちるという生徒が4人いた。

◇海外探究研修

- ・ 11月29日の日曜日から12月4日の金曜日の6日間、海外探究研修が行われた。海外探究研修は、探究学習およびキャリア教育の集大成として、世界の一流と出会うという体験型の研修。現地のコーディネーターと頻繁にやりとりし、生徒の実態を見ながら活動内容を考える非常にオリジナリティの高いもの。
- ・ 2年生の夏にはハーバードの学生に来てもらい、2、3日くらい英語漬けになって勉強するといったように、入学時から海外探究研修に向けて、教育課程などい

ろいろなものが組み立てられている。

- ・資料は総合探究科の生徒の満足度が記載されている。5段階評価でアンケートをとり、それぞれ活動やレクチャー、食事などいろいろなことが書かれている。平均を見ると4点台で推移しており、大半の活動はとても良いと評価してくれた。
- ・次のページは台湾に行ったビジネス探究科の満足度。こちらも非常に満足度が高く、おしなべると4.5くらいの満足度があると思う。
- ・次のページがオランダ、ドイツに行ったスポーツ探究科。一番右端にある平均というのが満足度になる。大半の生徒が4点以上。クラスをおしなべると4.37。
- ・生徒はこの研修に行って、非常に満足し、意義ある活動だったと評価してくれている。非常に喜ばしいことだと思う。
- ・出発直前に、パリの同時多発テロ等があった。実施に際しては何回か保護者に連絡させていただいたり、いろいろなご意見をいただく中で引率教員の増員をしたりした。
- ・生徒の安全は確保しなければならないものではあるが、この海外探究研修は本校の教育活動のフレームを成しているもの。それを考えながら、今後どのように実施していくかということを検討していきたいと思う。

◇キャリア教育について

- ・「第9回キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰」という表彰があり、97団体が受賞した。この表彰は、推薦の観点の4項目に合う実践のうち、優れたものについて県の教育委員会を通して推薦してもらう。本校はこの4項目のうち、「地元企業や自治体等と連携し、地域課題の解決に取り組むなど、児童生徒の地元への理解・愛着・誇りを育む教育を積極的に取り入れている学校」という項目で推薦していただいた。究タイムの市役所プランという取組は、地域の課題を解決するための解決策について提案をしていく時間。まさに地域の課題の解決に取り組み、地元への誇りとか理解とか貢献の意識を高めることに繋がる取組ということで、表彰された。
- ・究タイムの時間は2年半の学習期間があるが、その学習を終えた3年生に毎年アンケートを行っている。学習の成果について、いくつか紹介させていただく。『地域社会の一員として、自分にできることはないかと考えたことがある。』という生徒が71%、『社会や地域の課題解決に向け、主体的に活動したいと思う。』という生徒の割合も72.8%ということで、3分の2以上の生徒がこの究タイムの取組によって、地域社会の一員としてこれからも地域や社会に貢献していきたいという意識を高めている。こういった取組が静岡県だけではなく、全国的にも徐々に注目をしていただけようになってきた。このような取組を広くいろいろな方に知っていただける機会を得られたことは、すばらしいことだったと思う。

学校からの報告について意見交換

(質問・意見等)

・進路状況は昨年度と比較するとどうか。分かる範囲で教えてほしい。

(回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・国公立大学の数が全ての尺度ではないが、昨年度は8名の合格者がいたので、ほぼ同じくらい。就職も、人数は昨年度より少し多いが、内定率は100%。昨年度と同じく4割が四年制大学、1割が短期大学、3割が専門学校、2割が就職という形で推移していると思う。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・警察や消防で今年度は合格者が厳しいという話があったが、大学でも同じような傾向がある。公務員人気が高まって、合格が難しくなっているということだと思う。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・1次試験と2次試験の違いは何か。
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・1次試験は筆記試験で、2次試験は面接や体力検査等になる。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・2次試験で不合格だったということだが、何か面接で不合格になるような要素はあるか。
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・運動部で体力もあり、なおかつ面接の練習もすごくしている。2期生に関してはそれで合格できたが、今年は倍率が高かったのか、1名しか合格しなかった。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・国公立大学に何人受験し、何人合格したのか。割合ではどのくらいか。
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・国公立大学に関して言うと、AO入試や推薦も含めて13人が受験した。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・13人受けて7人が合格。去年もだいたいそれくらいか。
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・だいたい同じ。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティFMは、ナビゲーターが二人いる番組の中での枠ということだが、この二人が話して、生徒たちも参加するという形か。
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな形でもいいそうだ。この方たちがメインになって、それに参加するのもいい。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・その番組の中の1つのコーナーとしてということか。

(回答)	<ul style="list-style-type: none"> この二人をどう使ってもかまわないと言われている。最初に「富士市立高校のコーナーです。」というのをこの方たちに話をしてもらって、「富士市立高校に振ります。」ということで本校に振ってもらってスタートするという形でもかまわない。直接、そこへ誰かが行って、その二人とやり取りをしてもかまわない。学校で録音してもいい。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> それは回によって変わるということか。
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> 毎回変わる形になろうかと思う。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> 生徒たちが番組内容を作るのか。
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> 生徒主体のときもあるし、教員が中心になるときもある。回ごとにいろいろなパターンで変えていくと思う。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> FMしみずでも、清水南高校がこういう形で1年間に渡って番組を始めようとしている。その番組は完全に毎回同じ形。パーソナリティと生徒との掛け合いという形でやるのが決まっている。内容が変わっても、パターンとしては同じ形でやろうということにしている。
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> 今後もいろいろ教えていただきたい。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> 「こういうラジオ放送が始まるよ。」というコマーシャルというか、番組の宣伝はどのようなやり方を考えているかお聞きしたい。
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> 本校のウェブページに載せるつもりでいる。相談中だが、広報ふじであるとか、その他の手段も使えればと考えている。委員の指摘のとおり、「やるよ。」というCMも充実させるように考えている。
<p>○学校評価について</p> <p>◇生徒、保護者、教職員アンケートの結果について</p> <p>◇学校自己評価について</p> <p>(資料を基に、アンケート結果と評価について説明)</p>	
<p>学校自己評価について意見交換</p>	
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> 生活および学習リズムのところ、1、2年生で特定の生徒の欠席が多いという結果があるが、人数的にはどれくらいで、どういう理由なのか。

(回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数字的に増えたということでC評価をつけた。1年生で3名、2年生は1、2名。その他の生徒は、ほとんど遅刻・欠席をすることはなく、がんばって学校に来ている。大多数の生徒のことを考えるとCという評価は厳しかったと思う。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ もしすごく人数が多ければ、学校に問題があるのか、家庭に問題があるのかというところを聞いたかったが、そういう問題は全くない。C評価ではなくて、A評価でもいいくらい。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料に『例年より多い』と書いてあったので、非常に多くなったのかと思った。イの『授業の内容が分かる生徒の割合』であるとか、オの『学校で勉強した内容をもっと知りたいと思う生徒』という項目が非常に低い。送り出した方の進路指導が失敗しているのではないかということを考え、本当に望んでいる子どもたちを送り出したのかという反省を覚えた。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ イの授業の内容が分かる生徒の割合について、今の2年生、3年生が前年にどうだったかということが分かる数値はあるか。
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒アンケートの資料でいうと、『授業の内容がよく分かる。』という部分。こちらで経年の様子を見てもらえると思う。この数字はそれほど変わってはいない。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 『週に5日以上、家で勉強をしている。』について、平成27年度の2年生の平均が1.7。1年時の2.1から2年時は1.7になっている。2以上だったものが1.7に下がった、なにか理由があるのか。
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中だるみだと思う。3学期に入り、各クラス担任の先生が個人面談を進めている。進路の目標もかなりはっきりした生徒も増えてきているので、現時点では多少改善しているのではないかと思う。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校生活に満足してないかといえば満足はしている。やはり中だるみという感じなのか。すごく不思議だと思った。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ イの『授業の内容が分かる生徒の割合』は、学年が進むにしたがって、1年生よりも3年生のほうが授業の内容が分かるというのはすごくいいと思う。教職員の皆様のきめ細かい努力の賜物だと感じている。

(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・カの『学校に困ったことや悩み事を相談できる人がいる生徒の割合』というのもすごい。89%もいるということはすばらしい。この時期は、意外と悩みを打ち明ける人が少ない時期かと思う。これはAに値するのではないかと考えた。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・サの『いじめ・体罰防止対策』は、今のところ表面に出てくるいじめはないが、ないからといって安心できない。注意してほしいと思う。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席と遅刻について、悪天候になると父兄が車で送ってくる。そうすると、根方街道からここまで帰りの車がつながってしまう。その5分か10分のロスがあるのでないかと思うので、悪天候のときの車の流れを良くすれば遅刻も減っていくのではないかと思う。
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・とりあえず学校の中に入って降ろして出るようにしているが、出るところで混雑してしまい、学校から出ていけない状況。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻の数は、平均するとどれくらいか。
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒は朝読書の始まる8時15分までに教室の席に座っていることになっている。朝のSHRが始まる8時25分が教務上の遅刻ということになる。8時15分に遅刻する生徒は、特定の生徒2、3名。それが、天候が悪いと2桁くらいにはなってしまう。教務上の8時25分以降の遅刻は、これまた特定の生徒の遅刻。通院など何かしらの理由があるので、指導が必要な遅刻という生徒は本当に1、2名。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の生徒というのは、どういう理由か。
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・おそらくは昼夜が逆転したり、父兄の方が送り出すというところが不十分だったり。高校生なので自分で時間を見て出てくるということも大事かと思うが、なかなか生活の面で規則正しくできていない子が、どうしても朝起きられないのではないかという遅刻がある。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・市立高校は、遅刻の判断をかなり厳しくやっているから、こういう結果だと思う。義務教育では授業の始まりを遅刻かどうかの基準にする。指導の一環として朝読書の時間で判断しているが、授業には出ているということを見ると、そんなに厳しい評価をする必要はないと思う。

<p>(質問・意見等)</p>	<p>それから、パーセンテージを考えれば本当に少ない。先ほどの特定生徒の欠席もそうだが、あまりにも厳しくしすぎている感じがする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イの項目で、年間2回、教員研修で互いに授業を見合っている。こういう研修をやっていることがすごいと思う。また、先生が出張のときに授業を入れ替えて自習を回避し、授業の時数は確保していることも非常に素晴らしいと思う。教科会議については、教科会議ではないかもしれないが、お互いに教科の先生方が雑談等で授業力向上のためにやっているのではないかと考えると、C評価は厳しい。授業の内容が分かるという生徒の割合は、目標と生徒のアンケート結果を比べるとだいぶ違うからCということは分かる。けれども、イの全体でCという評価にするのは厳しい。Bでもいいのではないかなと思う。
<p>(質問・意見等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評価でいえば、オの『学校祭の企画・運営』は目標値が90%以上で、実際の満足度が90%なので、評価はAでいいのではないかな。あえてBにする必要はないと思う。
<p>(質問・意見等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほどの説明を聞いて、厳しい評価になっていると感じた。事前にいただいた資料では、まだここは集計中という形だった、内容をお聞きしたら、Bよりもう少し良くてもいいと思った。
<p>(質問・意見等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・そうすると、AとCがはっきり分かれてくる。強みと弱みというか、よくがんばっているところと、これからがんばっていかなければいけないというのが分かる。次への方策が打ちやすくなっていくという印象がある。
<p>(質問・意見等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安全指導カードの件数について、目標までは到達していないが、前年よりもずいぶん改善された。そして、他校の状況と比べても悪いとは言えないので、Bくらいの評価でもいいのではないかな。
<p>(回答)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『出張時における授業時間の確保』は、どこの高校も大変苦労されている。学校改革を進めていくなかで、授業の確保だけはしようということを経験してきた。事務室の配慮で、午後に事務員の方に一人来ていただいて、教務課とタイアップして長期的なスパンのなかで授業を変更していくということで、大変力を借りている。学校のなかでの連携を図っていかねばできないことなので、その成果だと思おう。

(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> 『学科・学年別懇談会の出席率』の目標が50%以上だが、目標が高いのではないかと。正直に言って、中学校では3分の1も来ない。懇談会といっても、せいぜい10人前後。高校2年生で31%というのを見て、逆にびっくりした。それだけ保護者の意識が高いと思うので、最初の50%という目標が高いのではないかと。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> 高校に関しては進学校ほど出席率が高く、かなりの保護者が来ると聞いている。他の学校でも、出席率が低めだったのでなるべく上げたいと言って、50%以上を目指して達成している。せっかく学校でいいことをやっているのだから、ご父兄も巻き込んで、もっと中学生の保護者にPRしていただける方向に持っていけたら、いい方向へ進んでいくのではないかと。ここは努力のしがいのあるところ。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> 懇談会の内容だと思う。どういう懇談会を開くかによってパーセンテージが変わってくる。行事の説明や講演会のようなものを兼ねた懇談会なのか、単なる懇談会なのかということで変わってくる。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> その点は、評価が難しいところ。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> 『授業の内容の分かる生徒の割合』にあるパーセンテージは生徒の主観だと思うので、先生方が生徒に対してどう感じているのかというパーセンテージも聞いてみたかった。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> 授業の理解度について、先生方のアンケートの『充実した授業をするために、授業方法や教材を工夫・改善しているか。』の全体は3.4ということで、結構高いと思う。一方、授業が分かると答えた生徒のパーセンテージと比較すると、生徒と教員の思いのギャップがあるという感じがするので、そのへんは研究していただくと良いと思う。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> 教員アンケートの担任平均は担任の主観で、副担任はやや客観的な目線と捉えていいのか。そうすると主観の方がやや厳しめになって、客観の方が甘めになるというのは、わりと正常なところだと思う。学級運営だけはそこが逆になるところがある。もしかしたら、自分は保護者等と十分連絡を取り合っていると思っていても、客観的に見るとそうでもないと思われるかも。ただ、それは副担任の先生が見えないところなので、見えないところでやっているという思いがあるかもしれない。これは先生方の意識を考えるうえでもとても面白い。『生徒の進

	<p>路希望を把握し、指導・助言を行っている』と担任の先生は思っている。副担任の先生はそうでもないと思っている。見えないという面もあるが。もしかしたら、そのへんをやっていくと中だるみや授業工夫にもつながっていくかと思う。</p>
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に関しては、12月に生徒による授業評価アンケートの代々木ゼミナールによる分析会というものをやっている。生徒からもらった評価によって、教員が点数化される。分かりやすい授業をしているか、板書はどうかといったいろいろな項目について、教員が自分のデータを知って、翌年に反省を生かすということをやっている。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・副担任の先生が教科指導にこれだけ高い評価をつけているということは、工夫されているだろうということが分かる。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容がよくわかるかどうかという部分。1年生が2年生になったときに、2.6から2.5になってしまっている。そのへんは今後の対策が必要であるということが言えると思う。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・『夢や希望を持っている。』割合も、年々上がってくるというのが通常だと思うが、それがあまり変わらないというか、1年生のほうが高い。そういうことも関係する感じがする。『困ったことや悩み事などを相談できる人がいる。』の数値が高いというのはすごいと思う。先生方と信頼関係ができているということを感じる。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生の中だるみの話が出たが、保護者の懇談会の出席率も2年生はすごく低い。中だるみなのか、それとも親がそうだから子どもが停滞気味なのかということは追跡しないと分からないと思うが、関係があるのか。2年生の保護者の出席率は毎年それくらいなのか。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生は初めて学校に来て、学校の様子がわからないからとりあえず行く。2年生は去年出ているから行くのをやめる。3年生になって就職や進路の話が出てくるので行くという感覚だと思う。
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・傾向はそのとおり。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・高校には関係ないが、小学校の参観日は両親が行く。溢れんばかりにいる。それが中学にいったら少ない。なぜだろうか。

(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> 出された意見を振り返りながら評価について確認をとっていきたい。アの最初の『欠席・遅刻・早退を昨年度より減へ』という目標に対してCが付いている。この評価が厳しいという意見があったが、どうか。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> 成果と課題の表現はこのままでいいか。欠席が多い生徒が入ってきてしまった、というニュアンスでとられてしまう。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> 学校には何の問題もないのでC評価ではなく、Bより高くても良いくらい。
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> 特定生徒の数字を抜くと例年並み。どうしても一定数は遅刻があるが、特定生徒の数を抜けばほぼ例年並みということで、先ほどから言われているようにBでも良かったという気がする。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> それではこの項目はBに修正する。表現については再検討していただき、学校側に妥当な表現に修正していただく。そして、アの項目全体としての評価はBということで、確認がとれた。次にイで、まずは『教科会議の励行』のところはCというのは厳しいのではないかとというご指摘があったが、いかがか。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> 成果と課題が『時間割内に組み込むことも難しい。』という表現になっているが、ではどうするのか。ここは成果と課題なので、今後の課題としてどうしていきたいということにならないとおかしい。学校としては難しいから成果目標にはしないと、もし成果目標にするなら今後課題としてはどんなところに注意して進めていくかが必要。
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> 体育科と英語科については、時間割の中に会議という時間があるが、他の教科もということになると、時間割の中に授業が収まらなくなってしまう。全部の教科で時間割の中に会議を組み込むことは難しい。ではいつやるのかといえば、放課後になる。放課後も部活動の指導があって、なかなか揃うことは難しいと思う。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> だから、隔週というのは無理。おそらく先生方が全員揃わなくてもいろいろな場面で教科について話をしている。だから、それで置き換えることができるのではないかと。隔週位置づけるなんてことを書かない方がいい気がする。

(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・現状では教科会議は全員参加ではなく、数人が集まればそれを教科会議とみなすということで判断すればいいかもしれない。そうすると、Bくらいの達成度が成されていると判断してもいいと思う。
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・そういう形であればやっている。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・教科会議であれば月に1回に変えた方がいい。月1回も厳しい。
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・隔週1回くらいやりたいという思いで書いた。月1回くらいはやっていると思う。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・もしくは小規模の教科会議ということで、教科会議自体を小さくするか。小規模の会議も含めてしまってB評価にした方が、現状に合っている気がする。Cだと全くやっていないように思われてしまう。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、この部分はBという評価に修正させていただきたいと思う。イの全体評価について、Cではなく、Bでもいいのではないかという意見が出されていたがどうか。
(了承)	<ul style="list-style-type: none"> ・(了承)
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・では、ここはB評価にしたいと思う。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・『自転車安全指導カード』はB評価に相当するのではないかという意見が出たが、いかがか。特に異論がなければ、B評価に修正をさせていただく。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・『学校に困ったことや悩み事を相談できる人がいる生徒の割合』も、報告では89%で目標の90%の若干下だが、これはかなり高い評価ができるという意見があった。A評価に修正してもよろしいか。
(了承)	<ul style="list-style-type: none"> ・(了承)
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ここをAに修正した場合、全体の評価はBのままでよろしいか。それから『学科・学年別懇談会の出席率』は、そもそも目標自体が高いのではないかということだった。高い目標に照らしたらCになるかもしれないが、ここをどう評価するか。

(質問・意見等)	・目標を50%以上と書いてしまっているので、難しいところ。
(質問・意見等)	・B評価の「おおむね」をどこの範囲で考えるか。40%以上をおおむねとするか、45%以上をおおむねとするかで評価は違ってくる。40%以上あればおおむねとみなすというのも1つのアイデアだと思う。少なくとも3年生が達成しているという点を見ても、Bくらいが適当だと思う。
(質問・意見等)	・3年生は達成されているので、ここはBということによろしいか。
(了承)	・(了承)
(質問・意見等)	・『学校祭の企画・運営』は目標を達成しているので、A評価で良いのではないかと思うが。
(質問・意見等)	・今はBとなっているが、Aに修正するということによろしいか。
(了承)	・(了承)
(質問・意見等)	・全体としてもAが多い部分なので、この項目の全体評価もAということによろしいか。
(了承)	・(了承)
次回日程について	
閉会	